

首相、任命拒否やめよ 福井5市町で抗議の宣伝

福井県の戦争する国づくり反対！福井総がかりアクションは11月29日、菅義偉首相による日本学術会議への人事介入に抗議して福井市など5市町で宣伝しました。



屋敷紘美代表は「政府の政策に賛成するかが任命の基準となるならば、『忖度(そんたく)の学問』になってしまう」と強調し、菅首相が6人について行った任命拒否の撤回を求めました。

かねもと幸枝日本共産党県書記長(衆院北陸信越比例・福井1区重複候補)は「科学の発展のためには政治からの自由、独立性が何よりも大事です」と訴えました。

立憲民主党の野田富久県第1区総支部長は「(任命拒否は)排除の論理だ。こんなことをやっているのは、国の発展も、学問、経済の発展もない」と訴えました。

坂井市では「ピースさかい」のメンバーらが参加し、アピールしました。福井市では、演説に聞き入って拍手する人たちがいました。